

・・・西高宅配便・・・NO5

6月5日

熱烈歓迎！台湾国立高級中学校 in 西高

5月29日（木）の午後、台湾の国立斗六高校、北港高校、虎尾高校より総勢41名の高校生が西高にやってきました。引率団6名の団長は虎尾高校の校長先生です。

歓迎セレモニーは、さすが西高。文化の香り高いものでした。

生徒会長の英語の歓迎スピーチ、合唱部と1年生の7・8組の音楽選択生の合同の合唱、「待ちました！」の吹奏楽部の演奏と、どれもこれも素晴らしいものでした。

台湾の生徒もですが、西高生も非常に人懐っこく、フレンドリーで言うことなし。（やっぱり、空気を読んだ3年生の力が大きいかも。）

6限目は英語・情報・生物・社会・体育（剣道）・音楽・美術・書道の8講座に、だいたい5名に分かれて授業に入りました。英語やジェスチャーなど交えて、お互いに一生懸命にコミュニケーションをとろうとする高校生の姿は非常に頼もしく、また誇らしくもありました。放課後の部活動は、お琴、茶道、自然研究会に入り、初めての体験をしていただきました。当日までは、文化の違いで大変苦労をしましたが、終わってみれば、「よかったなあ。」の一言に尽きます。

でも、台湾の高校生は大陸的というか、とってもしフレンドリーなのはいいんですが、西高生と、あっちでペチャクチャ、パチリ。こっちでもペチャクチャ、パチリ。交流を深めるのはいいんですが、サッサと動いてくれません。出発の時間が過ぎているんだよー！ 向こうの先生は、”They are young people・・・”と諦め顔。仕方ないですかねえ。

西高生が四日市市教委より表彰されます。

四日市市青少年育成市民会議より、ボランティア部の生徒が表彰されることになりました。コツコツと地道な活動を続けている本校のボランティア部（水谷悦子先生が顧問）です。西高代表として、晴れの舞台に立つことになり、嬉しい限りです。今後も、地味ではありますが、じっくりとボランティア活動を続けていってください。

《 訂正 》

前回で、「西高オジサンズ、頑張っています！」という記事を載せましたが、オジサンズより「ぜひとも正しい表記をお願いしたい。」とクレームがありましたので訂正します。

「伊勢湾台風の記憶のある者は強いんだぞ！」の部分は、

「伊勢湾台風の記憶があるだけではダメ。あの夜はこうだったと、伊勢湾台風を自分の経験として語れるものが強いんだ！ピンチを何とか必ず逃げ切る力のもとには伊勢湾台風実体験記憶。」